



本町からの招待児童が選手入場でハイタッチ（ロアッソ熊本「甲佐町タウンデー」）

うたごよみ 水無月

〔短歌〕

渡辺幸士選

赤・白・ピンクの庭のつつじの咲きみちて老  
い立つ松の裏裾飾る 上村 かず  
息子との電話で人の名を忘れ横に居る夫応え  
てくるる 赤星 文子  
萌え出でし若葉は霧に包まれてふと口ずさむ  
摩周湖の歌 松本ぬい子  
朝刊の折り込みチラシ見ればまた「買いた  
よ」と誘惑さるる 吉永由紀子  
春めいて新緑見せし山々に黄の花付けて目立  
つ椎の木 上村やす美  
「お早う」も「行ってきます」も「只今」も  
みんな私の独り言です 赤星 延子  
帰り待つ人も無けれど夜のバスの過ぎるに思  
う今日の幸せ 内田のぶ子  
人酔わす「一心行の大桜」幾多の世代見て来  
たことか 緒方 明美  
目白らの啄み残す餌のミカン色褪転び庭春深  
む 内山タミエ  
一面に群がり咲きししゃがの花人影まばらな  
山あいの里 塚本 俊子  
陶器市にあれもこれもと買い過ぎて背に両手  
にと持ち切れずおり 塚原 暁益  
咲き誇る肥後石楠花の花蕊を眩しく見入る友  
と並びて 森田 房恵  
逢う喋る聞く読む書くの億劫となりつつ吾の  
老い進みゆく 渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士選

〔連休〕

連休の陰に働く人もいる 林 雅之  
連休を指折り数え孫を待つ 布田 愛子  
連休は人混み避けて部屋籠り 古閑チヨミ  
連休に娘は外国へ旅立った 清川みどり

〔惜しい〕

沈むには惜しい夕日と居る私 伊豆野ヤエ  
ああ惜しい一字違いで外れ籤 松本ぬい子  
惜しまれて黄砂で霞む阿蘇五岳 早 彦喜  
戦争の記憶がめしを残さない 渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美選

雨も好き 傘が取り持つ夫婦です みどり  
雨も好き 緑の木々の美しさ 千恵  
雨も好き 相合傘のむしゃん良エ 梅香  
雨も好き 孫の服でも作ろうか 光  
雨も好き 降らんと困る時の有る 靖枝  
雨も好き のどかな田植思い出し 公美  
雨も好き 今日はずっくり骨休め 陽子  
雨も好き 花粉が飛ばず散歩する 愛子  
雨も好き 貴方が呉れた傘の有る レイコ  
雨も好き ちよつと甘えてみる離れ 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
096・234・2447（内線321）